

2026
Jan.

1

vol. 144

JA ASAHIKAWA

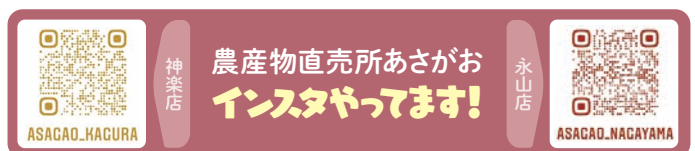
あさひかわ



特集

新春を迎えて

- ❖ TAC「米集荷特別表彰」を受賞
- ❖ 女性部 全体研修開催
- ❖ JAあさひかわ米が店頭に並ぶお店
- ❖ 鈴木知事へ旭川産新米のPR
- ❖ 理事会だより





新春を迎えて
代表理事組合長 古澤 祥弘

新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆さまにおかれましては、穏やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年は農協運営並びに事業推進に對しましてご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

昨年の農業を取り巻く状況は、長年の課題である農業従事者の高齢化や担い手不足が依然として深刻な問題となっており、また、米をはじめとする農産物の価格変動や需要の変化も大きな課題となっています。さらに、生産コストの上昇も重なり、組合員の皆さまにとっては厳しい状況が続いております。加えて、世界的な気候変動も食料供給に大きな影響を与えております。このような状況の中、農産物の収量は、夏場の高温により例年を若干下回る結果となりました。

昨年は第8次農業・農協中期3カ年計画の最終年度であり、

持続可能な経営基盤の確立・強化のため、自己資本の増資等により財務基盤の強化と経営収支の安定確保に努めてまいりました。今後も自己資本増強の充実を進めてまいります。

農協を取り巻く環境は、社会や経済の変化がますます加速する年になると予想されます。時代の流れに柔軟に対応し、組合員の皆さまのご期待にお応えできるよう、一層努力してまいります。

午年の今年は、馬の持つ「力強さと機動力」をイメージし、地域から必要とされ、信頼されるJA、なくてはならないJAを目指して、役職員一丸となってチャレンジしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、組合員の皆さま方にとって実りある豊穰の一年となり、素晴らしい年となりますことを心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



令和8年の年頭にあたり
北海道農業協同組合中央会代表理事会長 樽井 功

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます次第であります。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、作物の生育は全般的に平年よりも順調に推移しておりましたが、道内の広範囲において被害が発生した夏場の記録的な豪雨や干ばつにより各作物等の収量および品質に影響が出た一年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、円安基調の継続や国際紛争等に起因する資材価格の高止まりが農業経営に大きな影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えております。

この様な状況の中、昨年7月に実施された参議院議員選挙において、組合員・JA役職員をはじめとする多くの皆様の

ご支援をいただき、全国農業者農政運動組織連盟が推薦した東野ひでき氏を国政に送り出すことができました。

この一步を重要な礎とし、改正基本法により基本理念として位置付けられた、国民一人一人の食料安全保障の確保や環境と調和のとれた食料システムの実現、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員・JAの声を国政に届ける活動を継続していきます。

JAグループ北海道は、今後とも組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整え、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現に全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、本年は午年です。午年はエネルギーと行動力が高まり、挑戦や成長の機会が得られる年とされています。この謂われにあやかり、本年が北海道農業の更なる飛躍の年となることと、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



JAあさひかわの
気になるニュース

JAあさひかわ稲作協議会役員 道外視察研修会実施



株式会社キューレイ研修風景



沖縄食糧株式会社研修風景

12月1日（月）から4日間にわたり、JAあさひかわ稲作協議会役員による道外視察研修会を実施しました。令和7年度の視察先として、2023年4月に米飯専用の新工場を稼働させたニチレイフーズグループ・株式会社キューレイ（福岡県）と道外大手米穀卸業者である沖縄食糧株式会社（沖縄県）を訪問しました。

株式会社キューレイの新工場では、「美味しさを追求した製法」に加え、「先進技術を活用した生産設備」や「SDGsに配慮した生産工程」を柱とした取り組みについて説明を受けました。また、沖縄食糧株式会社では、現在7銘柄の品種を取り扱い、年間で8,000～8,500tを取り扱っていること、産地仕入れにおける沖食のシェア率は約20%に達していることが紹介されました。

いずれの訪問先においても、当協議会役員との間で活発な意見交換が行われ、今後の産地づくりや販売戦略を考えるうえで大変有意義な研修となりました。

JAあさひかわ女性部 全体研修開催

10月30日（木）にブルーミントンのレストラン、フォレスト・ヴェルデにてJAあさひかわ女性部全体研修『洋食のテーブルマナー講座』が開催され、約40名の部員が参加しました。テーブルマナー認定講師の木下様より、マナーについて説明をいただきながら食事をしましたが、いろいろな雑学等も盛り込みながらのお話をいただき、楽しくテーブルマナーを学びました。部員同士の交流も楽しみながらも、少し背筋を伸ばしての研修で、日常とは違う雰囲気味わえた時間となりました。



新年挨拶 青年部部長 浅野 健次郎

新年明けましておめでとうございます。日頃より当青年部活動に格別のご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年も変わらず、青年部員一丸となつて地域農業の発展に向け、青年部活動を進めてまいりますので、より一層のお力添えをいただければと存じます。

農業を取り巻く環境がめまぐるしく変化する昨今ですが、その中で昨年、私たち農家代表として東野秀樹参議院議員が誕生したことは、青年部の立場から選挙活動に携わった私たちにとって大変大きな成果だったと言えます。

これからの農業界を背負って立つ我々から東野議員を通して、国政へ現場の声を発信してまいりたいと思います。

さて、私たち青年部に目を向けますと、部員数は減少傾向で10年前の約半分にまで減っている状況にあります。

そのため、部内からは在籍する意義を、部外の青年部世代に対しては入部したいと思える魅力ある組織となるべく、「部員の事業参加率の向上」として「青年部活動の外部および内部への強力な発信」に重点を置き、昨年度からこの2点を意識した活動内容を心掛けております。

特に、昨年度初開催の「A1フェスティバル」では、内外に対して強力に発信を行える内容を部全体で企画しました。

結果的にイベント参加者からは農業への理解の深まりを、部員からはモチベーションの向上や農業技術の研鑽機会となったという意見が寄せられました。

また、報道機関によって本イベントが広く拡散され、JAあさひかわとその農産物がPRされる機会を作り上げることができました。

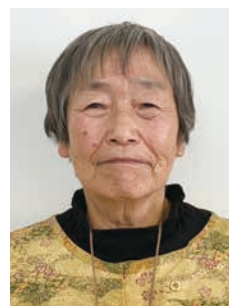
将来的に部員数の減少は避けられないかもしれませんが、この地域や食、農業に対する熱い気持ちと問題解決に向けた実行力を世代を超えて共有し、今やるべきこと、そして、今やれることに全力を注ぎ、青年部事業を推し進めることがいつそう求められると思います。

大切なことは、「A1フェスティバル」を続けることではなく、その時代の部員が社会や地域に対して熱い想いを伝えること、そしてその手段を真剣に考えることだと思います。

私たち青年部世代だからこそ行える活動とはなにか。

これからの農業界を多方面から魅力的と感じていただけるよう、そこに繋がる活動を今後展開してまいります。

結び、今後とも諸先輩方、各関係機関の皆様方のご指導ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。今年一年皆様のご健康とご多幸を祈念し新年の挨拶といたします。



新年挨拶 女性部部長 中家 由美子

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様、職員、女性部員の皆様には日頃よりJA女性部活動に対し、深いご理解とご協力を賜り、熱く御礼申し上げます。

冬になると感じます。色のない世界、白と黒、どこまでも白と黒。知っていませんでした、雪の下から顔を見せる雑草と呼ばれる草たちは、緑の色を濃くして雪の中で成長することを。きつぱりとした晴空が主張し、風が変わる日が来ます。

たまたま雪国で生まれなかった私は、この地で百姓を始めて42年が経ちました。部長の就任挨拶に「歳はとつたけれど、それでもやります。それでもやります」と大見栄をきりました。何ができたかと自問自答する毎日です。

6月24日、役員研修会「生活習慣病を予防する食生活」として、餅やクルトの管理栄養士の小野寺様にご講演をいただきました。減塩のポイントに乳和食を活用するという一文がありました。牛乳消費応援活動をセミナーより受け継ぎ、部員の皆様に牛乳贈答券のとりまとめに協力をお願いしていましたが、豚汁に牛乳を！青菜のだし煮お浸しに牛乳を！というレシピはすぐに活用できそうです。善玉菌を増やして痩せ菌を活性化させようです。

10月30日、ブルーミントンのレストランにおいて、洋食のテーブルマナー講習会が開かれ、36名の参加がありました。美味しいものを食べる幸せ、美味しいと感じられる幸せ、生産者に感謝する幸せ、後片付けをしなくても良い幸せ、作物に感謝をする。ちよつぷりお洒落をして、幸せのオンパレード。ごちそうさまでした。

11月12、13日「JA北海道女性大会・北海道家の光大会」は意義深いものでした。北海道農業への期待と銘打って、東京大学の鈴木宜弘教授にお話を伺いました。先生は「世界で最初に飢えるのは日本」の著者であり、日本の食料安全保障問題の第一人者として食料危機への対応を訴え続けています。今、私たちに何ができるかという命題をつきつけられました。13日には「農業がルーズコレクション2025 in 北海道」が開かれました。北海道各地に美味しい農産物と女性部あり。最も美味しいご当地料理はこのどれだ。で始まり、エントリーされた17のメニューはどれも女性部のエネルギーが結集されたものでした。我が女性部が考案したレシピ「そばいなり」は最優秀賞をいただきました。

女性部のための女性部員ではなく、女性部員のための女性部でありたい。思いは募るばかりです。

インフルエンザが猛威をふるっています。長年酷使した足の調子はどうか。自分自身をいたわりましょう。そして、ひとりひとりのあなたと背中をさすり合い、心がしんどい時は一緒に泣き、お腹が痛くなるほど笑い転げる時間を作りましょう。

ガサでの死者は7万人に達したそうです。ウクライナへの侵攻も止まりません。ただただ平和を祈り、新年の挨拶といたします。

神楽年金同友会・神居基幹支所年金友の会 温泉湯治



神楽年金同友会（会長 山本 隆一、会員38名）は11月11日（火）から14日（金）までの3泊4日の日程で10名、神居基幹支所年金友の会（会長 佐藤 勤、会員65名）は11月12日（水）から14日（金）までの2泊3日の日程で11名の参加により白金ホテルパークヒルズにて冬季温泉湯治を開催しました。

両会で懇親を深めるべく日程を合わせて合同で宴会を行い、ビンゴゲーム等で盛大に盛り上がりしました。

翌日はカラオケルームでも交流を深めたり、ゆっくりと温泉につかったり日頃の疲れも十分に癒された温泉湯治になりました。

さつき年金友の会 忘年会を実施

さつき年金友の会（会長 柿本憲昭、会員60名）は、令和7年11月18日（火）に比布町の「遊湯ぴっぷ」で忘年会を開きました。

この忘年会は、今年最後の行事です。絶品の料理に舌鼓を打ち、ビンゴ大会やカラオケで大いに盛り上がりしました。カラオケでは、飛び入りでダンスに加わる会員も続出し、会場は熱気と笑顔に包まれました。楽しいひとときを通じて、会員同士の絆も一層深まったようです。

会員の皆様からは、「来年もまた参加したい」という声が数多く寄せられ、さつき年金友の会の活気を改めて感じる忘年会となりました。



JA北海道女性大会・北海道家の光大会に女性部役員等が参加

令和7年11月12日～13日に札幌パークホテルにて『JA北海道女性大会・北海道家の光大会』が開催され、女性部役員等が参加しました。1日目は、家の光持ち寄り読書から始まり、家の光記事活用体験発表が行われました。その後は、『日本農業の今後の展望について～北海道農業への期待～』と題した講演を、東京大学の鈴木宜弘様よりいただきました。北海道農業にかかる期待、女性農業者へ向けてのメッセージを受け取ってきました。



2日目は『農業ガールズコレクション2025in北海道』として、全道各地の女性部から選りすぐりの17レシピ発表がされ、JAあさひかわ女性部はJA東旭川女性部とともに、JA上川地区女性協議会の代表として登壇し、ピリカイそばを使用した“そばいなり”の発表をしました。そばのPRからレシピの発表まで、パフォーマンスも含め、大変盛り上がり、そばいなりは午後の『めぐり王国北海道NEXT』の公開収録へ駒を進めました。公開収録へ駒を進めたのは5つとなり、それぞれのプレゼンの後に、互いのレシピの審査が行われました。プロの司会により盛り上がる中でも真剣に審査が行われ、審査の結果、JAあさひかわ女性部のそばいなりが“第1回農業ガールズご当地料理グランプリ最優秀賞”に輝き、その様子が12月6日にめぐり王国にて放送されるという貴重な機会となりました。

12月4日（木）令和8年度鷹栖町農業予算に関する要望書を提出

次年度の農業予算確保に向けて、JAたいせつとともに鷹栖町長を訪問し、要望書を提出しました。

冒頭、古澤組合長より、今年度の鷹栖地区の作柄や、令和7年産米価が前年に引き続き大きく上回ったことに触れ、「明るい兆しも見え始めているものの、生産資材やエネルギー価格の高騰が続く、農業者の営農意欲維持・向上には依然として厳しい状況が続いている」と述べ、国などへの働きかけについて町長のご支援をお願いしました。

今回の要望書では、スマート農業導入支援や担い手対策や新たな作物の導入・拡大に向けた機械や施設の導入の支援、鳥獣被害対策についても強化するなど、計9項目を盛り込みました。

また、水田政策の見直しの新たな方向性についても、現場での課題解決に町農業再生協議会が主体的に取り組んでいただきたいと要請しました。

これに対し、谷鷹栖町長からは「農業関係団体が連携し、地域農業の振興に努めていきたい」との力強いお言葉をいただきました。



TACパワーアップ大会2025にて今年度より 新設されたJA部門「米集荷特別表彰」を受賞

11月20日（木）から21日（金）にかけて、新横浜プリンスホテルにて「TACパワーアップ大会2025」が開催されました。

農業現場では、農業従事者の高齢化や新規就農者の減少により、生産人口の縮小が年々加速しています。団塊世代の大量離農や後継者不足も拍車をかけており、5年後、10年後の地域農業を支える担い手の確保は一層重要な課題となっています。こうした状況のなか、JAにおけるTAC活動の維持・強化の必要性がより高まっています。

このような時代背景をふまえ、第18回となる今大会では、5年後・10年後を見据えた地域課題の解決、担い手の課題解決を通じた生産基盤

の強化、さらにはJAが持つ総合事業としての強みを生かしたTAC活動の高度化をテーマに、優良事例の共有が行われました。また、TAC間の交流や意見交換を通じてネットワークを構築し、活動レベルのさらなる向上を図ることも目的とされています。

当組合は、米集荷における三つの柱として掲げる「民間流通との競合」「価格競争と販売力の課題」「生産者との信頼関係」の改善に向けた取り組みが評価され、JA部門で「米集荷特別表彰」を受賞いたしました。

受賞JAは表彰式並びに、取り組み事例の発表を行い、全国から参加したTAC関係者へ向けて優良事例を共有しました。

JA部門 米集荷特別表彰 受賞

事例発表者：営農企画部 米穀農産課 課長 上原 由大

※ JA あさひかわ、JA 小松市、JA 北びわこの3JAが受賞しました。



表彰式



取組事例報告の様子、全国からTAC関係者約350名が集った

JAあさひかわ青年部 職員との交流会を開催

10月31日（金）、JAあさひかわ青年部と職員との交流会が開催されました。

この交流会は、日頃の農作業の疲れを癒やし、地区の枠を超えた部員間の親交を深めるとともに、職員との親睦を図ることを目的として、例年開催されています。

今年は旭川トーヨーホテルにて、交流会と懇親会を同会場で行い、交流会では身体を動かすスポーツとしてモルックを行いました。

部員・職員合わせ40名の参加者が集い、浅野健次郎部長の開会挨拶の後、交流会が開催されました。7～8人1組のチームとなり、5チームでトーナメント戦を行いました。限られた時間のなかではありましたが、チーム全員で参加できたこともあり、会場一体で盛り上がりを見せ、今年も部員と職員の一体感が得られました。

交流会、懇親会ともに有意義な時間を過ごし、より親交を深め、盛会のうちに終了しました。



JAあさひかわ青年部 勉強会を開催

12月11日（木）、JAあさひかわ青年部が勉強会を開催しました。

当別町クリーン農業協議会会長 桧山雅一様、はるきちオーガニックファーム代表 小林卓也様を招き、実践的な有機栽培の知識や事例などをご講演いただきました。

他青年部との交流を深めるべく、今年度はJAあさひかわをはじめ、東旭川、東神楽、びっぴ町、上川中央の5JA青年部員、計30名が出席しました。

懇親会では普段は顔を合わせる機会の少ない地域の青年部員同士が、情報交換や意見交換を行い、地域を超えた交流と親睦を深める貴重な機会となりました。



第4回

JAあさひかわ米が 店頭に並ぶお店 特別編

旬八青果店

代々木公園駅店／東五反田店
赤坂店／天王洲店／芝店
大崎広小路駅前店／目黒二丁目店
<https://www.shunpachi.jp/>

今回は当組合の「ゆめぴりか(特別栽培米)」と「ななつぼし(Yes!Clean米)」を取り扱っていただいております旬八青果店さんをご紹介します。旬八青果店さんを運営するアグリゲートの左今代表取締役役にお話をお伺いしました。

旬八青果店さんは首都圏で運営されていますが、令和7年産から各店で当組合産米を販売していただいております。また、今後は現在まで仕入れられなかったものを旬八青果さんより仕入れて、あさがおで販売することも計画しております。

このたび、旬八青果店として初めて北海道産のお米を取り扱わせていただき、JAあさひかわ様の「ゆめぴりか(特別栽培米)」と「ななつぼし(Yes!Clean米)」をご紹介できたことを大変嬉しく感じております。当店はこれまで全国各地の農産物を扱ってきましたが、お米については安定した確保が難しい年が続いており、特に2024年産は十分な数量を押さえることができず、やむを得ず産地が不明瞭なお米を扱う場面もありました。そのような状況の中で、確かな産地と品質を持つJAあさひかわ様のお米を仕入れさせていただけたことは、お客様へ自信を持ってお届けできる安心感にもつながり、心からありがとうございます。

実際に店頭で販売を開始してから、お客様の反応は非常に好評です。ゆめぴりかはもちもちとした食感とふっくらした炊き上がりが特長で、噛むほどに甘味が広がる点が評価されています。



大崎広小路店



芝店



東五反田店



東五反田店内



一方、ななつぼしはさっぱりとした口当たりでありながら香りが良く、日常的に食べやすいお米として選ばれています。どちらも炊いた時の香りが豊かで、品種ごとの個性がしっかり伝わることから、リピーターの方も増えてきている印象です。

また、当店では複数の契約産地に対し、弁当用のお米も含めて例年以上に多めの予約を行っています。その中でもJAあさひかわ様のお米は安定して注文が続いており、店舗スタッフからも「扱いやすく、お客様にも自信を持ってすすめられる」との声が上がっています。品質の高さはもちろん、特別栽培米やYes!Cleanといった取り組みから感じられる生産者の皆様の姿勢にも、強い信頼を寄せています。

旬八青果店は2029年までに100店舗体制を目指しており、今後はお弁当用・小売用ともに、これまで以上にお米の需要が高まっていく見通しです。その中で、JAあさひかわ様のお米をレギュラーで販売させていただき、長くお付き合いを続けていければと考えております。これからもお客様に喜ばれるお米をお届けしていけるよう、ぜひ末永くご一緒させていただければ幸いです。

もっと
安心と満足をお届けするため…

ライフイベントなど
皆さまのくらしのことお聞かせください！

「聞かせて!」
くらしのこと
アンケートキャンペーン

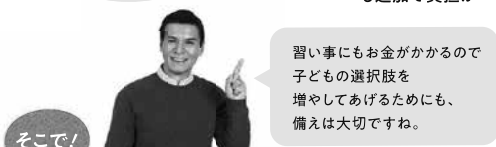
回答はコチラから!

簡単なアンケートに答えると
抽選で合計600名様に
豪華賞品が当たるチャンス!

さらに/
W
チャンス! 合計100,000名様

その場で当たるデジタルクーポン

【大学までの教育費※】 (幼稚園～大学)



お子さま・お孫さまの
ために75歳まで
ご契約いただけます。

※文部科学省「令和3年度子供の学習費調査」、(株)セールス手帳社保険FPS研究所「ライフプランデータ集2024年版(大学生の教育費秘蔵)」をもとにJA共済連作成

25481050196

サポート
2

お子さまの未来を守るために…
教育費の「いま」をご存じですか？

教育ローンのご案内



お子さまの大切な未来のために。 JAの教育ローン

CHECK! -JAバンクの教育ローンが選ばれる理由-

教育資金を
幅広くサポート

お子さまの入学や授業料だけでなく、ひとり暮らし費用等、教育に関わる様々な資金をサポートします。

※「JAネットローン 教育ローン」は、地域によってお取り扱いできない場合もございます。

卒業後からの
返済も可能

毎月の元利均等返済や賞与時の増額返済で無理なく返済いただけます。据置期間を利用すれば卒業後の返済も可能です。

ネットでいつでも
事前申込み

「JAネットローン 教育ローン」はインターネットで24時間365日、気軽に事前申込みができます。※

私たちが寄り添えることを、もっと。- JA共済×全農×JAバンク -

サポート
3

未来のために「いま」考える教育ローン
必要な時に必要なだけ準備を

私たちが寄り添えることを、もっと。

JA共済 × 全農 × JAバンク

今回のテーマ

子育て

“未来を応援する3つのサポート”

ナビゲーター
阿部祐二さんサポート
1

未来を切り開く力になる!
子どもの成長に合わせて
家庭でできるモンテッソーリ教育

近年再注目されている「モンテッソーリ教育」。子どもに「こころするべき」と大人の意見を押し付けず、興味を持ったことを自ら学び、成長する力を尊重する教育法です。大人は直接的な手助けをせず、「扱いやすいハサミを用意する」「集中できるようにテレビを消す」など、子どもの挑戦を陰からサポートすることが基本です。子どもが主体となって「自分でできた!」を経験することで、自己肯定感や向上心、責任感など、生きていく上で大切な心が育まれます。

モンテッソーリ教育は専門のスクールや教具もありますが、家庭でも簡単に取り組むことができます。どの年齢にもおすすめの「一手を使う機会を多くつくる」こと。手を自在に使えるようになると、ボタンを留める、靴紐を結ぶ、歯を磨く、お箸を使うなど、様々なシーンで「自分でできた!」を増やすことができます。さらに、文字を書きたくなった時も自然に鉛筆を持てるようになり、「上手に文字が書けるようになった!」という成功体験にもつながります。

記事下では、手をスムーズに動かす練習になる「線のお絵描き」をご紹介します。特別な準備をしなくても遊びの中に取り入れられるので、お手本を見せて興味を引き出してから、お子さまと一緒に取り組んでみましょう。

靴紐を結ぶなど、様々なシーンで役立つ

手を動かす練習に 線のお絵描き

手を自由に使えるようになると様々なシーンで自分でできることが増えます。
目安は3歳～、鉛筆を持てるようになったら子どもと一緒に挑戦!

STEP1
大きいマル

まずは、線の始めと
終わりをくっつけることから。
慣れてきたら小さいマルや
うずまきも描いてみましょう。

STEP2
いろいろな線

ひらがなを書く力
つながります!

らせん ひらがなの
「の」「よ」など

波線 ひらがなの
「ん」「え」など

ギザギザ ひらがなの
「れ」「そ」など

私の子育てのモットーは
「娘の意思」を尊重すること。
知らず知らずのうちに
モンテッソーリ教育を
実践していたかもしれません!

【監修】
合同会社コソダチ 代表
モンテッソーリ教育者
北川 真理子さん

理事会だより

第10回 理事会

令和7年10月30日(木)

- 第2・四半期監査に係る取り組みを強化願いたい事項の回答について
- 令和7年度9月末に於ける事業実績(子会社含む)及び仮決算(子会社含む)の状況について
- 令和7年度 農業重点品目奨励・農業大口奨励施策及び令和8年度農業重点品目奨励・農業大口奨励施策(案)について
- 規程類の改正について
- 法人に対する貸付について
- 鷹栖町特別職報酬等審議会委員の推薦について
- 上川中央部4JA合併について

報告事項

- 内部監査の実施報告について
- 農家経営対策組合員の令和7年度第3四半期実績について
- TAC活動状況報告、主要農産物の状況及び地区営農状況について
- 令和7年度JA共済コンプライアンス点検結果について
- フィッシング詐欺等における補償状況報告について
- 組合員加入及び脱退の状況について
- 令和7年度人事について
- その他

第11回 理事会

令和7年11月27日(木)

決議事項

- 令和7年度10月末に於ける事業実績(子会社含む)及び仮決算(子会社含む)の状況について
- 外部出資の増口について
- 組合員懇談会の開催について
- 規程類の一部変更について
- 年末手当の支給について

報告事項

- 債権先の対応について
- 信用事業及び共済事業における相談・苦情等(令和7年度上半期)の報告について
- 反社会的勢力排除対応管理先にかかる対応状況報告について
- マネロン等の防止に係る対応状況について
- 令和7年度第4四半期余裕金運用計画額および運用方針について
- 子法人等9月末事業実績について
- 組合員加入及び脱退の状況について
- 年末年始の営業時間について
- 令和7年度人事について
- その他



(令和7年11月末実績)

概要

組合員数	正組合員	1,413名
	准組合員	16,866名
	合 計	18,279名
出 資 金 残 高	2,212 百万円	
販 売 取 扱 高	8,033 百万円	
生 産 資 材 供 給 高	1,701 百万円	
給 油 所 供 給 高	1,565 百万円	
生 活 供 給 高	68 百万円	
貯 金 残 高	99,847 百万円	
融 資 残 高	27,170 百万円	
長 期 共 済 保 有 高	1,284 億円	

お悔やみ 謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます

10/8	野澤 勝 さん	永山地区その他農事組合
10/9	千代 登 さん	永山地区その他農事組合
10/19	大橋 勝之 さん	旭正地区旭正農事組合
11/2	朝倉 文子 さん	旭川中央地区新睦農事組合
11/3	梅津 良一 さん	永山地区10区1組農事組合
11/5	織田 初男 さん	神居地区江丹別北農事組合
11/20	白木 弘幸 さん	神居地区雨紛2農事組合
11/22	高田 哲雄 さん	旭正地区旭正農事組合
11/24	角谷 正信 さん	北野地区とうわ農事組合
11/24	木下 芳雄 さん	旭川中央その他農事組合

異 動

【異動】

日付	資格名	氏 名	新役職	旧役職
11月20日	主査	長谷川亜美	金融共済部 共済課主査	管理部付
12月1日	審査役	妹尾 弦	営農企画部長 兼購買部長 兼営農企画部 企画課長	営農企画部 企画課長

【退職】

日付	資格名	氏 名	所属
11月30日	審議役	谷本 守	営農企画部長兼購買部長

【採用(準職員)】

日付	資格名	氏 名	所属
12月1日	準職員	谷本 守	営農企画部付 (定年再雇用)

監事会・監事監査の報告

監事会

第10回監事会 令和7年10月30日開催
第11回監事会 令和7年12月5日開催

監事監査

1. 随時監査

令和7年10月に管理部、金融共済部、農産物直売課、購買課、燃料課、7金融支所、西神居事業支所、4資材センター、4給油所を実施
※随時監査は、内部監査室と合同で実施しました。

2. 定期監査(第3・四半期)

令和7年12月2日から5日までの4日間実施

編集後記

明けましておめでとうございます。今年もよろしく願い致します。今年は午年です。馬は古くから人々の暮らしを支えてきた大切な存在です。私たちも馬のようにたくましく、組合員・地域の皆さまのために走り続けたいと思います。皆さまにとって実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。
JAあさひかわ広報誌編集委員会



JAあさひかわの
気になるニュース

鈴木直道北海道知事へ、旭川産新米のPRをしました！

旭川産米の魅力を広く発信し、更なる消費拡大を図るため、今津市長は旭川市内農協連絡会議会長の当組合古澤組合長、JA東旭川畑山組合長、JA東神楽岸本組合長、JAたいせつ外川専務とともに11月14日(金)に鈴木北海道知事へ各JA産のお米を贈呈しました。

地域での取り組みや生育状況などについてご説明し、安心・安全でおいしい旭川のお米の魅力をPRすることができました。

鈴木知事からは、「旭川のすばらしいお米を多くの方に知ってもらえるよう、私も力を尽くしていきたい」とのお言葉をいただきました！



子ども食堂へ新米400kgを提供！

11月26日(水)、あさがお神楽店において、旭川市で子ども食堂の運営を支えるNPO法人「ワーカーズコープ」と「陽だまりのころ」に併せて新米400キロを寄贈しました。

古澤組合長より「地元で育てた安心・安全なお米を地元の子どもたちにたくさん食べてもらいたい」とお話があり、「特別栽培米ゆめぴりか」と「YES!cleanなつぼし」を寄贈しました。

ワーカーズコープ渡邊代表と陽だまりのころ柴田代表より、「毎年大変助かっている」と感謝の言葉をいただきました。

当組合も引き続き食料の提供を通して、食育・農育に取り組むJAとして子ども食堂による子どもの居場所作りを支援してまいります。



渡邊代表(右)と柴田代表(左)へ
新米を手渡した古澤組合長

令和最新トレンド！ 巧妙な詐欺の見分け方

その1

JAバンクから
お客さま情報の
確認メールが来た！

メールのリンク先でIDやパスワード、
暗証番号の入力を求められてない？
メールアドレスやリンク先のURLは
本当にJAバンク？

JAバンクを装った詐欺メールをお客さまへ送信し、リンク先より偽サイトに誘導して、ID・パスワード・暗証番号等を盗み取り、不正に送金を行うフィッシング詐欺が発生しています。JAバンクでは、メールやSMSに記載のリンク先でネットバンクのIDやパスワード、暗証番号の入力を求めることはありません。リンク先のサイトにおいて入力を求められても、絶対に入力しないでください。JAバンクをかたる以下のような案内は、すべて詐欺ですのでご注意ください。



- 利用停止のお知らせ
- 緊急停止のご案内
- お客さま情報の確認について
- お取引目的等確認のお願い

SNSで仲良くなった人が
信頼できる投資話を
教えてくれた！

本当に
信用できる人？
必ずもうかる、
あなただけって
言われてない？

SNS等を悪用した投資詐欺や、恋愛感情につけ込むロマンス詐欺が発生しています。SNSの広告やダイレクトメールで著名人や投資家等を名乗り、「絶対にもうかる」「あなただけに特別」といった投資話をもちかけられたら、それは詐欺です。また、SNSやマッチングアプリで親しくなった相手から、「二人の将来のために投資を」「結婚するためにお金が必要」などと頼まれた場合も、詐欺を疑ってください。



警察から
「あなたの口座が
犯罪に利用されている」と
電話があった！

その2

その人、
本当に警察官？
電話でお金の話を
されてない？



警察官や行政職員等を装い、電話やビデオ通話などで「あなたの口座が犯罪利用されている」、「未納料金があり、支払わないと裁判になる」などと不安をあり、金銭等をだまし取る詐欺が発生しています。相手が警察官や行政職員であっても、身に覚えのないお金の話が出た場合には詐欺を疑い、最寄りの警察に相談をしてください。以下のような手口が横行していますので、ご注意ください。

● オレオレ詐欺

親族や警察官、弁護士等を装い、「示談金のため今すぐお金が必要」「あなたの口座が犯罪に利用されている」などと不安をあり、他口座への振込や現金の支払いを通じて金銭をだまし取る手口

● 架空料金請求詐欺

事業者・行政職員を装い、「未納料金の支払い」を名目として電子マネー（プリペイドカード）等の購入を通じて金銭をだまし取る手口

● 還付金詐欺

行政職員を装い、医療費や年金等の還付金があるなどと説明し、申込手続と称してATMを操作させ、実際には犯人側の口座に振込を行うことで金銭を騙し取る手口

大切な資産が奪われないように、詐欺に注意しましょう。

JAバンクでは警察と連携し、金融犯罪撲滅に向けて取り組んでいます



©よりそう